



茶屋場えんぶりの門打ち 継承する伝統の舞で魅了

茶屋場えんぶり保存会（東春三会長、会員24人）の「門打ち」は3月4日、冬部地区や町中心部などの町内7カ所で行われました。

華やかな烏帽子をかぶった踊り手による「舞込み」や祝舞の「大黒舞」「笹づくし」などが次々と披露され、五穀豊穡を願い力強く勇壮に舞う姿に観衆らは魅了されていました。

初めて息子の碧海くんと門打ちに参加した太田芳恵さんは「楽しく参加できました。親子で続け、継承していきたいです」と話してくれました。

息の合った勇壮な舞を披露する茶屋場えんぶり保存会の皆さん（下冬部の坂本清身さん宅前）



第5回町家のひなまつり 各種イベントでにぎわう

2月28日から3月4日まで、新町地区の「旧遠藤邸」で町商工会女性部（近藤とし子部長）主催の「第5回町家のひなまつり」が開催されました。

初日に行われた「がっきの会」によるリコーダーミニコンサートでは、日本・海外民謡やポピュラー音楽などから16曲が演奏され、会場にはリコーダーの優しく澄んだ音色が響きました。

5日間にわたって行われた同まつりでは、葛巻保育園児による踊りの披露や小物作り体験など、ひなまつりにちなんだイベントが催されました。

初日に行われたリコーダーミニコンサートの様子

シロクマ楽団の生演奏 震災復興へ思いを一つ

3月11日、神奈川県を拠点に全国の病院や幼稚園、介護施設などを訪問し生演奏の魅力を伝えている「シロクマ楽団」の演奏会が町内3カ所で開催されました。

葛巻病院の活・いきホールには、町内外から約40人の観客が訪れ、木崎二郎リーダーの会場を沸かせる軽妙なトークに引き込まれながら、全身に響き渡る生演奏に酔いしれました。震災復興支援など幅広く活躍する同楽団。「花は咲く」を全員で合唱し、震災復興への思いを一つにしていました。



トランペットを吹く波紫兼二さん（寺田）とのご縁で演奏会を開催したシロクマ楽団の皆さん

農業者年金のつどい 笑い絶えない講演会

農業委員会（深澤進会長）主催の第37回農業者年金のつどいは2月28日、グリーンテージで開催され、約60人が参加しました。

講演会では、日本笑い学会秋田県人会長の人星亭喜楽駄朗さんが講師を務め「人生漫談～人生60歳からがおもしろい～」と題し、自身が漫談師になった経緯や笑いのテクニックなどについて講演しました。

人星亭喜楽駄朗さんの冗談を交えながらの講演に、会場からは終始笑い声が上がっていました。



講師の人星亭喜楽駄朗さん（円内）と講演会の様子



ひな飾りが彩り添える 元木地区で手作り体験

元木自治会婦人部（元村トモ部長）主催のひなまつりは3月2日から4日までの3日間、元木生活改善センターで開催され、地区内外から多くの人が訪れました。

ちりめんの布を利用したブローチ作りの無料体験に参加した土谷勝子さん（83歳・元木）は「手作りが好きで毎年楽しみにしています。冬場は家にこもりがちになりますが、みんなで集まると元気が出てきますね」と、慣れた手つきで作り上げていました。

元木地区の婦人グループ「ひだまりサークル」の皆さんから手ほどきを受ける参加者たち



交付金を受け取り鈴木町長のあいさつに耳を傾ける皆さん

くずまき暮らしを支える 新婚&定住世帯に交付金

新婚ライフサポート金と定住対策住宅取得支援事業補助金の交付式は2月28日、町長室で行われ鈴木町長から新婚世帯(2世帯)へのサポート金と定住住宅取得にかかる補助金(1世帯)が贈られました。

鈴木町長は「生活に役立てていただき、葛巻で幸せに暮らしてもらえることを願います」とあいさつ。新婚ライフサポート金はこれまでに63世帯に交付されており、町民が新たに住宅を取得する際に申請できる定住対策住宅取得支援事業補助金は、今回が初めての交付となります。